

## システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 24 年度	学位名	修士( ビジネス )
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 李 鵬生
指導教員氏名 石井 健一			
論文題目  中国の大学生における SNS(交流サイト)の選択要因			
論文概要 <p>本研究は中国の SNS(Social Network Service)利用者がどういった要因で SNS を選ぶのかを明らかにすることを目的とする。まず、中国の大連市で SNS 利用者に対してインタビューを実施し、その結果に基づいて質問紙調査を作成した。質問紙調査は、中国遼寧省の二つの大学の学生と日本にいる中国人留学生に対して行った。</p> <p>まず、中国の大学生と日本の中国人留学生を比較したところ、留学生はマイクロブログとして最も人気のある新浪微博を頻繁に見るが、他の SNS の利用頻度は少なかった。これは関心分野の違いによるものと考えられる。次に、中国の大学生を対象として 7 つの主要 SNS(新浪微博、搜狐微博、QQ 微博、QQ 校友録、QQ 空間、人人網、開心網)について、利用者の現実の友達の規模、プライバシー意識、関心分野の三つの影響について分析した。</p> <p>分析結果は利用者の現実の友達の規模の効果が大きいことを示していた。つまり、利用者は SNS を選ぶとき、現実世界で多くの友達が使っている SNS を選ぶ傾向があることがわかった。一方、SNS の選択においてプライバシー意識の影響は小さかった。また、利用者は関心分野によって SNS を選択する傾向がみられた。「友人関係」、「情報収集」、「娯楽情報」、「外食情報」の各因子得点と SNS のログイン頻度または書き込み頻度との間で相関係数を求めたところ、友達との連絡や生活の記録を重視する人は、QQ 空間を頻繁に見る傾向があった。また、外食情報を重視する人は、QQ 空間と人人網で頻繁に書き込みする傾向があった。各サービスを因子分析したところ、騰訊社はいくつかのサービスを統合的に提供することにより、利用者の囲い込みに成功していることも示唆していた。最後に調査結果に基づいて SNS サービスに関するいくつかの経営上の提言を行った。</p>			
審査日	平成 25 年 1 月 31 日		
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 教授	工学博士	橋本 昭洋
副査	筑波大学 講師	博士(学術)	上市 秀雄
副査	筑波大学 准教授	博士(社会工学)	石井 健一